

プレスリリース

2026年2月5日、ジュネーブ

ウォッチズ・アンド・ワンダーズ ジュネーブ

2026年プログラム概要を発表

世界有数の高級時計サロン「ウォッチズ・アンド・ワンダーズ ジュネーブ」が、2026年4月14日から20日までの7日間にわたり開催されます。サロン会場からジュネーブ市内中心部に至るまで、時計製造における革新性と卓越したクラフツマンシップを体感できる、多彩なプログラムが展開されます。オンラインチケットは2026年2月10日より、公式サイト watchesandwonders.com にて販売開始です。

規模を拡大する 2026年エディション

2026年は、11の新ブランドの参加と「イン・ザ・シティ」プログラムのさらなる充実により、イベントは新たなステージへと進化します。ジュネーブの街全体を舞台とし、各ブランドが発表する新作の数々をハイライトに、業界関係者から一般来場者まで幅広い層が楽しめる催しを提供します。本イベントには、世界各国から6,000名を超える小売業者、1,600名の国際ジャーナリスト、約15,000名のゲストが来場予定です。前年度は125カ国から約55,000人が訪れ、国際的な注目を集めました。

音楽が彩るジュネーブの夜

2026年のプログラムは、毎日が特別な体験となるよう構成されています。なかでも注目は、モントルー・ジャズ・フェスティバルとの初のコラボレーションです。ケ・ジェネラル=ギザンに新設される600 m²の会場には、モントルー・ジャズ・クラブのエスプリを効かせた空間が誕生。ライ

コンサートや DJ セットを通じて、国際的な新進アーティストやジャズアンサンブルによる親密で臨場感あふれるミュージックイベントが展開されます。毎晩 17 時から 23 時までオープン、事前登録制で一般来場者を迎えます。

恒例の木曜ナイトイベントでは、湖畔を舞台にミュージックパフォーマンスの数々が開催されます。この期間中、ジャルダン・アングレ（イギリス公園）では、お馴染みの「花時計」が「ウォッチズ・アンド・ワンダーズ」のカラーに装飾され、街の象徴として来場者を迎えます。

時計文化の発信拠点「ウォッチメイキング・ビレッジ」

「ウォッチメイキング・ビレッジ」は、ポン・ド・ラ・マシン館に設置されます。スイス時計産業雇用者協会（CP）による時計製造入門ワークショップやキャリア紹介をはじめ、さまざまな時計関連プロジェクトを開催。市内ガイドツアーの出発点としても機能します。

また、出展ブランド各社のジュネーブ市内のブティックにおいては、この期間中だけの特別な演出やプレゼンテーションが予定されています。

サロンに広がるワンダーワールド

会場内では「LAB」が刷新され、革新技術と最先端の取り組みに特化した展示空間として新たな段階に入ります。時計製造との関連性はもちろんのこと、革新性、サステナビリティー、社会への影響といった基準から選考が行われた結果、60 件の応募から 15 のスタートアッププロジェクトが選出されました。時計産業の未来を見据えた彼らの先進的なアイデアをぜひご覧下さい。

また、ローザンヌ美術大学（ECAL）とのパートナーシップは 3 年目を迎え、ラグジュアリーおよびクラフツマンシップをテーマにしたマスターコースの学生作品が、没入型インсталレーションとして展示されます。

サロン入口には文字盤（Le Cadran）が設けられ、時計のダイヤルをモチーフに、中央の時計塔を 8 つのベンチと 4 つのテーブルが囲み、休憩や待ち合わせの場として来場者を迎えます。

特別展「Wake Up!」

特別展「Wake Up!」では、中世から現代に至るまでの目覚まし時計の歴史と用途を紹介します。ジュネーブ美術・歴史博物館(MAH)の所蔵品を中心に、公共の鐘から個人用の時計やベッドサイドクロックまで、50点以上のタイムピースを通して、人と時間、そして「目覚め」との関係を探ります。

オンラインチケット販売は **2026年2月10日**より開始します！
watchesandwonders.com にてご購入いただけます。

出展企業一覧

A. ランゲ & ゾーネ (A. LANGE & SÖHNE) | アルピナ (ALPINA) |
アンジェラス (ANGELUS) | アーミン・シュトローム (ARMIN STROM) |
アーノルド&サン (ARNOLD & SON) | アーティ ジュネーブ (ARTYA GENEVE) |
オーデマ ピゲ (AUDEMARS PIGUET) | ボーム&メルシエ (BAUME & MERCIER) |
ベーレンス (BEHRENS) | ビアンシェ (BIANCHET) | ブレモン (BREMONT) |
B.R.M クロノグラフ (B.R.M CHRONOGRAPH) | ブルガリ (BVLGARI) |
カルティエ (CARTIER) | シャネル (CHANEL) |
シャルル ジラルディエ (CHARLES GIRARDIER) | シャリオール (CHARRIOL) |
ショパール (CHOPARD) | クリストイアン・ヴァン・デル・クラーウ (CHRISTIAAN VAN DER KLAUW) | クロノスイス (CHRONOSWISS) | コルム (CORUM) | クレドール (CREDOR) |
サイラス ジュネーブ (CYRUS GENÈVE) | チャペック (CZAPEK & CIE) |
エベラール (EBERHARD & CO.) | ファーブル・ルーバ (FAVRE LEUBA) |
フェルディナント・ベルトウ (FERDINAND BERTHOUD) |
フレデリック・コンスタン (FREDERIQUE CONSTANT) | ジーナス (GENUS) |
ジェラルド・チャールズ (GERALD CHARLES) | グランドセイコー (GRAND SEIKO) |
グローネフェルト (GRÖNEFELD) | オートランス (HAUTLENCE) | エルメス (HERMÈS) |
H.モーザー (H. MOSER & CIE.) | ウブロ (HUBLOT) | エイチワイティー (HYT) |
IWCシャフハウゼン (IWC SCHAFFHAUSEN) | ジャガー・ルクルト (JAEGER-LECOULTRE) |
クロススタジオ (KROSS STUDIO) | ローラン・フェリエ (LAURENT FERRIER) |
レペ (L'EPEE 1839) | ルイ・モネ (LOUIS MOINET) | マーチ エルエービー (MARCH LAB.) |
ノモス _グラスヒュッテ (NOMOS GLASHÜTTE) | ノルケイン (NORQAIN) | オリス (ORIS) |
パネライ (PANERAI) | パルミジャーニ・フルリエ (PARMIGIANI FLEURIER) |
パテック フィリップ (PATEK PHILIPPE) | ペキニエ (PEQUIGNET) | ピアジェ (PIAGET) |
レイモンド・ウェイル (RAYMOND WEIL) | レッセンス (RESSENCE) |
ロジェ・デュブイ (ROGER DUBUIS) | ロレックス (ROLEX) | ルディ・シルヴァ (RUDIS SYLVA) |
ジン (SITT SPEZIALUHREN) | タグ・ホイヤー (TAG HEUER) | トリローブ (TRILOBE) |
チューダー (TUDOR) | ユーボート (U-BOAT) | ユリス・ナルダン (ULYSSE NARDIN) |
ヴァシュロン・コンスタンタン (VACHERON CONSTANTIN) | ヴァン クリーフ&アーペル (VAN CLEEF & ARPELS) | ゼニス (ZENITH) |

ウォッチズ・アンド・ワンダーズ ジュネーブ財団について

ウォッチズ・アンド・ワンダーズ ジュネーブ財団 (WWGF) は、ロレックス、リシュモン、パテック フィリップ により、2022年ジュネーブに設立された非営利財団です。現在は シャネル、エルメス、LVMH も理事会に参加。世界に向けた時計文化の発信を使命としています。

詳細情報: watchesandwonders.com

プレス資料 (写真・動画含む) : mediacenter.watchesandwonders.com

プレス窓口: press@watchesandwonders.com

ソーシャルメディア: #watchesandwonders2026